

【公開日】 2026年4月9日

作成日 2026年2月6日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」

受付番号：2026-4-003

課題名：屋内外における緑への近接性と健康との関連に関する研究

研究責任者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構・教授・木下賢吾

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画 地域住民コホート調査、三世代コホート調査に参加された方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2026年4月（研究実施許可日）～2029年3月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的・方法】

本研究では、東北メディカル・メガバンク機構が推進する地域住民コホート調査ならびに三世代コホート調査で収集された大規模な健康調査情報と、人工衛星リモートセンシング等から得られる環境情報（住居周辺の緑への近接性（Green Proximity）やエアロゾル暴露等）を統合して解析することで、居住・生活環境が健康指標（BMI、血圧、代謝・炎症関連指標、各種疾患の発症リスク等）および共生微生物を含むオミクス指標（血液メタボロームやヒト共生微生物メタゲノムの主要特徴量など）に及ぼす影響を探索的に評価することを目的とします。近年、緑が豊かな環境で育つことが精神疾患の発症リスク低下と関連することや、自然環境由来微生物との接触が免疫系や共生細菌の多様性に影響しうることが報告されています。一方、日本国内では、これらの環境要因と健康アウトカム、ならびに共生微生物との関連について十分な検証が進んでいません。本研究の成果は、生活環境と健康の関係に関する科学的根拠の蓄積に資するとともに、屋内外を問わず、ヒトのウェルビーイングにつながる空間設計や住環境整備に向けた基盤的知見の提供に寄与することが期待されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、基本情報（年齢、性別）、居住地情報、調査票情報、タブレット調査票情報、生理機能検査情報、検体検査情報、特定健康診査情報、メタボローム解析情報、メタゲノム解析情報、レセプト情報、を使用します。また、本研究において、試料は使用しません。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は、「5. 関係研究組織」に記載した研究機関で実施する多機関共同研究です。情報は、特定の個人を識別できないよう加工された上で共同研究先と共有され、本研究の関係者以外がアクセスできない環境（東北メディカル・メガバンク計画スーパーコンピュータ）下において共同で解析を行う場合があります。また、本研究において、東北大学東北メディカル・メガバンク機構から外部への試料の提供はありません。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：山本 雅之 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：該当なし

情報：居住地情報（郵便番号先頭5桁）、基本情報（年齢、性別）、検体検査情報、調査票（生活）情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、既往歴、服薬）、調査票（食）情報、タブレット調査票情報、生理機能検査情報、特定健康診査情報、メタボローム解析情報、メタゲノム解析情報、レセプト情報

5. 関係研究組織

本研究は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構とトヨタ自動車株式会社の共同研究になります。

研究機関名：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 生命情報システム科学分野

責任者職名・氏名：教授・木下 賢吾

研究機関名：トヨタ自動車株式会社 R-フロンティア部 バイオサイエンス研究グループ

責任者職名・氏名：グループマネージャー・曾我 直樹

6. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、トヨタ自動車株式会社との共同研究契約に基づき受け入れた研究費を財源に実施します。外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

【東北大学 東北メディカル・メガバンク機構】

担当者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 講師 青木 裕一

住所：〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-274-6040

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「7. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合